

平成29年度

事業報告書

I 研修・教育活動

1. 交通安全教育指導者等養成活動

- (1) 交通安全教育指導者研修会の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- (2) チャイルドシート指導員養成研修会の開催・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- (3) スーパーアドバイザー養成研修の実施・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- (4) 高校生向け自転車安全教育インストラクター認定及び更新講習会の開催・・・・・・・・ 3
- (5) 高等学校における自転車安全指導研修会の開催・・・・・・・・・・・・ 5
- (6) 二輪車(主として原付)通学許可校等の生徒指導担当者研修会の開催・・・・・・・・ 5
- (7) 交通ボランティア等ブロック講習会の開催・・・・・・・・・・・・・・ 6

2. 交通安全教育指導者等支援活動

- (1) 学校における交通安全教育に関する協議会の開催・・・・・・・・・・・・ 7
- (2) 各種認定者との連携による地域交通安全モデル事業の実施・・・・・・・・ 8
- (3) 講師派遣の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- (4) 参加・体験・実践型交通ボランティア養成事業の実施・・・・・・・・・・・・ 8

3. 交通安全教育啓発活動

- (1) 高齢運転者及び自転車運転者の交通事故防止を目的とした
移動型交通安全啓発活動の実施・・・・・・・・・・・・ 8
- (2) 児童及び高齢者を対象にした歩行者向け交通安全講習会の実施・・・・・・・・ 8
- (3) 自転車交通安全教育地域一体型プロジェクトの実施・・・・・・・・・・・・ 9
- (4) 自転車安全利用講習会の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- (5) 住民参加型の地域交通安全普及啓発モデル事業の実施・・・・・・・・・・・・ 10
- (6) 緊急時の対応に関する啓発活動の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- (7) 国際協力による教育普及活動の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- (8) 関係機関と連携した交通安全教育啓発活動の推進・・・・・・・・・・・・ 10

II 調査研究活動

- 高齢者を対象とした自転車安全利用講習の効果について調査・・・・・・・・ 11

III 情報収集提供活動

- 1. 月刊誌「交通安全教育」の編集・刊行・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
- 2. ホームページによる情報の発信及び収集・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

IV 教材の制作・普及事業

- 1. 交通安全教育啓発資料・機材の開発及び普及・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
- 2. 教育啓発資料の監修・指導等の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

V 基本財産の運用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

VI 会議の開催

- 1. 理事会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- 2. 評議員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- 3. その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

I 研修・教育活動

交通安全教育の担い手である指導者等の養成と指導力・資質の向上を目的として研修・支援を行うとともに、子供や高齢者、一般市民等の交通参加者を対象に、交通安全意識の向上と安全な交通行動の実践化を図ることを目的として交通安全教育啓発活動を実施した。

1. 交通安全教育指導者等養成活動

(1) 交通安全教育指導者研修会の開催

交通安全教育に携わる行政担当者、交通指導員等を対象に、指導者としての資質向上を目的とした研修会を、内閣府の後援を得て開催した。

①開催日 平成30年1月15日(月)～1月16日(火)(2日間)

②場所 国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)

③テーマ 「子供と高齢者に対する効果的な交通安全教育」

④内容 【1日目研修】13:00～17:00

○講義1「発達心理学の観点でとらえた子どもの交通行動

ー子どもの交通安全教育への応用ー」

講師：大阪国際大学 人間科学部人間健康科学科 准教授 山口 直範氏

○講義2「高齢者のための交通安全教育」

講師：東北工業大学 名誉教授 太田 博雄氏

○実践発表1「高齢者を対象とした自転車安全利用講習の効果について

～アンケート結果から自転車交通安全講習に活かせること～」

講師：(一財)日本交通安全教育普及協会

【2日目研修】9:00～16:00

○講義3「自転車の安全指導について」

講師：(一財)日本自転車普及協会 谷田貝 一男氏

○実践発表2「子どもに対する交通安全指導」

発表者：埼玉県日高市 交通指導員 峰村 利子氏、倉本 はるみ氏 ほか

○実践発表3「高齢者に対する交通安全指導」

発表者：石川県金沢東警察署 交通巡視員 多田 みづほ氏、表 洋子氏

○班別協議・発表

⑤参加者 93名

(2) チャイルドシート指導員養成研修会の開催

チャイルドシートの正しい知識の定着と使用の促進を目的として、チャイルドシートに関する法的・技術的知識、正しい装着方法など専門的知識を修得した指導者を養成するための研修会を、内閣府、警察庁及び国土交通省の後援を得て、2回開催した。

①会場 平成30年2月27日(火)9:50～16:50

国立オリンピック記念青少年総合センター 52名

平成30年2月28日(水)9:50～16:50

国立オリンピック記念青少年総合センター 53名

②内容 ○チャイルドシートと幼児について(医学的見地から)

○道路交通法について(チャイルドシートの使用義務)

○チャイルドシートの技術基準

○チャイルドシートの基礎知識

○チャイルドシート取付け実習

(3) スーパーアドバイザー養成研修の実施

自動車教習所指導員を対象に、交通安全教育を実施できる企画力と教育能力を備えた人材の養成を目的としたスーパーアドバイザー養成研修（延べ5日間）を実施した。

- ① 研修日 **【集合研修】**
第13期：平成29年6月26日(月)～6月28日(水)（3日間）
【フォローアップ研修】
第13期：平成29年10月16日(月)～17日(火)（2日間）
- ② 場 所 国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区）
- ③ 内 容 **【集合研修】**
○講話「交通行政の概略」
○教育技術指導1「人間行動と動機づけ」「リーダーシップの基本」
「地域の交通安全センターになるために」
○実習1（グループ討議・全体討議）「ヒヤリハット実例と原因・対策」
○応用1（グループ討議）「能力向上のために学んだこと」
○教育技術指導2「プレゼンテーションの仕方」
○実習2（グループ討議）「教習所と自分の現状分析と課題」
○応用2（グループ討議）「交通安全センターの果たすべき役割」
【フォローアップ研修】
○講義1「フォローアップ研修の意義と位置づけ」
○講義2「KJ法」の進め方
○実習（グループ討議・全体討議）「地域の交通安全センターになるために」
○講義3「期待される交通安全教育指導員とは」
○全体総括「個人別決意表明・講評」
- ④ 講 師 千葉大学 名誉教授 鈴木 春男氏
(株)クレド 代表取締役 吉永 恵一氏
(一財)日本交通安全教育普及協会
- ⑤ 参加者 18名（最終修了者 18名）

(4) 高校生向け自転車安全教育インストラクター認定及び更新講習会の開催

自動車教習所指導員を対象に、高等学校の自転車安全教育の充実に寄与することを目的として、高校生に対する自転車安全教育における効果的な手法や知識を習得したインストラクター養成のための講習会を開催した。

受講後、一定の要件を満たした者には、当協会から「高校生向け自転車安全教育インストラクター」認定証を交付するとともに、1事業所に3名以上の認定者がいる事業所については、適正な活動を行う旨の誓約書の提出をもって「高校生向け自転車安全教育団体」として認定をした。

また、平成24年度及び27年度認定者を対象に、認定者のレベルアップを図ることを目的とした認定更新講習会を2日間の日程で開催した。

【認定講習会】

- ① 開催日 平成29年10月10日(火)～平成29年10月11日(水)（2日間）
- ② 場 所 大阪都島自動車学校（大阪府都島区）
- ③ 内 容 **【1日目講習】** 10:00～18:00
○講義1「高等学校における交通安全教育の現状と進め方について」

講師：(一財) 日本交通安全教育普及協会

○講義2「自己理解を促すためのディスカッション手法について」

講師：東北工業大学 教授 小川 和久 氏

○実技「屋外で実施する自転車教育の手法等について」

講師：(株)ムジコ・クリエイト東京営業所 所長 野藤 智氏

【2日目講習】9:00～16:00

○講義3「自転車の交通ルールについて」

講師：(一財) 日本交通安全教育普及協会

○協議「ディスカッション（屋内）及び自転車実技（屋外）の指導案作成」
「実演リハーサル」

○実演「ディスカッション」、「自転車実技（事故再現と正しい走行等）」

○筆記テスト

④参加者 26名

【中級更新講習会】

①開催日 平成29年11月20日（月）～11月21日（火）（2日間）

②場所 一般財団法人ボーケン品質評価機構 4階セミナールーム（東京都江東区）

③内容 **【1日目講習】13:30～18:00**

○講義1「教育現場における効果的な交通安全教育について」

講師：(一財) 日本交通安全教育普及協会

○講義2「コーチング技法の基礎理論と実践」

①アイスブレイク ②傾聴の技法 ③オープンクエスチョン 等

講師：(株)ムジコ・クリエイト東京営業所 所長 野藤 智氏

【2日目講習】9:00～16:00

○協議1「コーチング技法展開協議（事故はなぜ起きたのか?）」

○講義3「自転車の安全利用に係る改正道路交通法について」

講師：(一財) 日本交通安全教育普及協会

○協議2「コーチング技法展開協議（実践を想定したシナリオ案作成）」

○実演「コーチング技法実践（グループディスカッションの展開）」

④参加者 30名

【上級更新講習会】

①開催日 平成29年11月16日（木）～11月17日（金）（2日間）

②場所 一般財団法人ボーケン品質評価機構 4階セミナールーム（東京都江東区）

③内容 **【1日目講習】13:30～18:00**

○実演「事前課題についての実演発表（個人）」

○講義1「コーチングメソッド（マイクコーチング等）を活用した教育手法」

講師：(株)ムジコ・クリエイト東京営業所 所長 野藤 智氏

○協議1「自転車シミュレータ等を活用した屋内自転車教室の指導案作成」

【2日目講習】9:00～16:00

○協議2「自転車シミュレータ等を活用した屋内自転車教室の指導案作成」

○実演「自転車シミュレータ等を活用した屋内自転車教室の実演（グループ）」

④参加者 19名

(5) 高等学校における自転車安全指導研修会の開催

(一社) 日本自動車工業会からの委託を受けて、高等学校における自転車教育を自動車との安全な共存を目指したプレドライバ教育として位置付け、地域連携型の高校生向け自転車交通安全教育を推進することを目的に、兵庫県において自動車教習所指導員及び高等学校等の交通安全指導担当教員を対象に、高校生に対する効果的な自転車安全教育の手法と知識を習得するための研修会を実施した。

また、兵庫県内の自動車教習所と連携し、モデル的に生徒参加型の自転車教室を7か所で開催した。

①指導員及び教員対象の研修会

東播地区：平成29年7月4日(火) 東播自動車教習所(兵庫県加古郡5)

教習所研修 2名 高校研修 50名

阪神地区：平成29年7月5日(水) アールドライバーズ西北(兵庫県西宮市)

教習所研修 2名 高校研修 20名

研修内容：【指導員】

- ・高等学校における交通安全教育の現状と進め方について
- ・アクティブラーニング手法を用いたグループディスカッションの展開方法
- ・屋外実技の指導の仕方及びリハーサル

【教員】

- ・自動車と共存できる自転車の安全な通行の仕方
- ・交差点で起きる事故再現
- ・ヘッドフォン使用の危険性及び駐停車車両の側方通行時に起きる事故再現
- ・グループディスカッション手法を活用した交通安全教育
- ・協議「地域と連携した自転車交通安全教育の進め方」

講師：一般財団法人日本交通安全教育普及協会・開催自動車教習所指導員

②モデル事業

○平成29年10月18日(水) 兵庫県立姫路北高等学校 定時制 4学年 400名

○平成29年10月27日(金) 兵庫県立相生産業高等学校 定時制 4学年 90名

○平成29年12月1日(金) 兵庫県立播磨特別支援学校 3年生 52名

○平成29年12月15日(金) 兵庫県立東播磨高等学校 1クラス 約40名(県のモデル校)

○平成29年12月18日(月) 兵庫県立有馬高等学校 1年生 約240名

○平成29年12月19日(火) 兵庫県立家島高等学校 3学年 88名

○平成29年12月20日(水) 兵庫県立川西明峰高等学校 2学年 約300名

(6) 二輪車(主として原付)通学許可校等の生徒指導担当者研修会の開催

(一社) 日本二輪車普及安全協会からの委託を受けて、バイク通学を許可している高等学校の教員等を対象に、高校生の二輪車事故の減少に貢献することを目的として、講義、原付実技体験、事故再現、研究協議を内容とする研修会を2か所で開催した。さらに、高校生に対する指導の機会・場をより一層拡大することを目的として、自動車教習所の指導員を対象に、高校生の特性を踏まえた効果的な原付指導の進め方を習得するための研修会を2か所で開催した。

【教員等向け研修会】

①平成29年6月1日(水) マジオドライバーズスクール鹿児島校(鹿児島県鹿児島市)

参加者 鹿児島県内高等学校 10校 10名

②平成29年11月13日(月) ドリームモータースクール昭和(長野県長野市)

参加者 長野県内高等学校 20校 20名

【指導員向け研修会】

- ①平成 29 年 5 月 27 日（土） 沖縄県運転免許センター（沖縄県那覇市）
参加者 沖縄県内自動車教習所指導員 17 校 20 名
- ②平成 29 年 11 月 15 日（水） 大分県自動車学校（大分県大分市）
参加者 大分県内自動車教習所指導員 17 校 22 名

（7）交通ボランティア等ブロック講習会の開催

内閣府からの委託を受けて、地域の交通ボランティアや交通指導員等を対象に、地域の交通ボランティア等の交通安全に対する意識の高揚及び資質の向上を図り、地域社会全体の交通安全の確保を図ることを目的として、主に子供と高齢者の交通安全をテーマにした講演や各地の活動事例発表、班別協議等を内容とする講習会をブロック別に開催した。

①北海道ブロック

- 開催日 平成 29 年 10 月 23 日（月）～24 日（火）
- 会場 ワシントンホテル旭川（北海道旭川市）
- 講演 ○講演 1「飲酒運転の動向とその対策」
講師：法政大学法科大学院 教授 今井 猛嘉氏
- 講演 2「高齢ドライバーの安全教育」
講師：東北工業大学 名誉教授 太田 博雄氏
- 参加者 1 日目 70 名、2 日目 46 名

②東北ブロック

- 開催日 平成 29 年 9 月 14 日（木）～15 日（金）
- 会場 秋田ビューホテル（秋田県秋田市）
- 講演 ○講演 1「自転車の事故防止のために」
講師：（一財）日本交通安全教育普及協会
- 講演 2「子どもを交通事故から守る」
講師：NPO 法人 日本こどもの安全教育総合研究所
理事長 宮田 美恵子氏
- 参加者 1 日目 48 名、2 日目 51 名

③関東・甲信越ブロック

- 開催日 平成 29 年 10 月 5 日（木）～6 日（金）
- 会場 ホテルニューイタヤ（栃木県宇都宮市）
- 講演 ○講演 1「事故、ヒヤリハットから考える自転車の安全利用推進」
講師：日本大学 助教 稲垣 具志氏
- 講演 2「高齢者（運転者も含めた）に対する交通安全の動機づけ」
講師：千葉大学 名誉教授 鈴木 春男氏
- 参加者 1 日目 47 名、2 日目 49 名

④東海・北陸ブロック

- 開催日 平成 29 年 10 月 12 日（木）～13 日（金）
- 会場 石川県女性センター（石川県金沢市）
- 講演 ○講演 1「高齢者（運転者も含めた）に対する交通安全の動機づけ」
講師：千葉大学 名誉教授 鈴木 春男氏
- 講演 2「地域の安全は、人々との笑顔から」
講師：金沢星稜大学 教授 池田 幸應氏
- 参加者 1 日目 73 名、2 日目 41 名

⑤近畿ブロック

開催日 平成29年11月6日(月)～7日(火)
会場 奈良日航ホテル(奈良県奈良市)
講演 ○講演1「これからの交通ボランティア活動」
講師：安全教育研究所 所長 星 忠通氏
○講演2「ウルトラ高齢社会と交通安全」
講師：自由学園 講師 溝端 光雄氏
参加者 1日目名75名、2日目68名

⑥中国・四国ブロック

開催日 平成29年9月25日(月)～26日(火)
会場 ホテルメルパルク広島(広島県広島市)
講演 ○講演1「幼児の交通安全について」
講師：安全教育研究所 所長 星 忠通氏
○講演2「高齢者(運転者も含めた)に対する交通安全の動機づけ」
講師：千葉大学 名誉教授 鈴木 春男氏
参加者 1日目47名、2日目36名

⑦九州ブロック

開催日 平成29年10月30日(月)～31日(火)
会場 グランデはがくれ(佐賀県佐賀市)
講演 ○講演1「これからの交通ボランティア活動」
講師：安全教育研究所 所長 星 忠通氏
○講演2「ウルトラ高齢社会と交通安全」
講師：自由学園 講師 溝端 光雄氏
参加者 1日目36名、2日目36名

2. 交通安全教育指導者等支援活動

(1) 学校における交通安全教育に関する協議会の開催

都道府県教育委員会の交通安全教育担当者等を対象に、今後の安全教育の方向性を探り、その成果の普及を図ることを目的として、文部科学省の後援を得て、講義及び子供の交通事故実態等を踏まえた重要課題についての協議、意見・情報交換等を内容とする協議会を全国2ブロックで開催した。

- ①ブロック 【東京会場】平成29年8月23日(水)13:00～16:30
(一財)日本交通安全教育普及協会 会議室(東京都千代田区) 8名
【大阪会場】平成29年8月25日(金)13:00～16:30
サムティフェイム新大阪(大阪府大阪市) 10名
- ②内 容 ○講義と質疑応答「文部科学省における学校安全教育の方針」
講師：文部科学省 初等中等教育局 健康教育・食育課
安全教育調査官 吉門 直子氏
○協議「学校における交通安全教育の充実」
～自転車や通学路等における効果的な交通安全教育について～
○意見・情報交換

(2) 各種認定者との連携による地域交通安全モデル事業の実施

当協会の各種認定(スーパーアドバイザー、高校生向け自転車安全教育インストラクター)を受けた自動車教習所指導員及び自動車教習所の実践力を高め、地域の交通安全に貢献することを目的として、地域密着型の交通安全モデル事業を2県8か所で実施した。

(3) 講師派遣の実施

自治体や関係機関・団体等からの要請により、児童・生徒や高齢者、自転車の交通安全をテーマにした講習会の講師として職員を派遣した。

(4) 参加・体験・実践型交通ボランティア養成事業の実施

内閣府からの委託を受けて、地域の交通ボランティア等の資質の向上を図るとともに、地域における自主的な交通安全活動を推進することを目的に、地方公共団体から提案された参加・体験・実践型のプログラムを2か所で実施した。

①茨城県水戸市会場

事業名	地域みんなの交通安全教室 in 水戸
日時	平成29年11月21日(火) 8:30~12:00
会場	水戸市立渡里小学校(茨城県水戸市堀町)
参加者	渡里小学校、吉沢小学校、上中妻小学校、内原小学校 各2学年生 300名
内容	腹話術による交通安全のお話、ピカベスト(高視認性)の効果体験、自動車の内輪差と死角見学、自動車の衝突時の衝撃(シートベルトコンビンサー)体験、白バイ、パトカー乗車体験

②山口県周南市会場

事業名	交通安全教室 in 周南
日時	平成29年11月16日(木) 14:00~16:00
会場	周南自動車学校(山口県周南市大字栗屋 1041-1)
参加者	交通指導員等、地域における交通安全の指導者的立場にある高齢者 200名
内容	歩行シミュレータ体験、自転車シミュレータ体験、俊敏性測定機器体験、反射材効果実験、酒酔い疑似体験、セーフティ・サポートカーS 体験乗車及び展示、シートベルトコンビンサー体験、スケアードストレイト見学

3. 交通安全教育啓発活動

(1) 高齢運転者及び自転車運転者の交通事故防止を目的とした移動型交通安全啓発活動の実施

J A 共済連からの委託を受けて、地域で実施されるイベント等に自動車及び自転車の交通事故防止を目的に、交通安全危険予測シミュレータ等を搭載した車両及び指導員を派遣した。

①自動車シミュレータ体験車 派遣回数 140回

②自転車シミュレータ体験車 派遣回数 82回

(2) 児童及び高齢者を対象にした歩行者向け交通安全講習会の実施

東京都からの委託を受けて、児童とその保護者、及び高齢者を対象に「歩行者向けの交通安全危険予測シミュレータ」を活用した講習会や啓発イベントを実施した。

①小学生向け(実施回数96回 都内の小学校96校 参加者数9,443人)

- プログラム ○交通安全クイズ（信号の意味、飛び出しの危険）
○歩行シミュレータ実技体験（横断歩道等の渡り方、危険予測学習）
- 講師 （一財）日本交通安全教育普及協会 等
- ②高齢者向け（実施回数 18 回 参加者数 2,335 人）
- プログラム ○認知・判断力診断
○歩行シミュレータ実技体験（道路の横断の仕方、危険予測学習）
- 講師 （一財）日本交通安全教育普及協会 等
- ③啓発イベント（実施回数 6 回 参加者数 2,190 人）
- プログラム ○歩行シミュレータ実技体験（対象者に合わせてコース選定）
- 指導者 （一財）日本交通安全教育普及協会 等

（3）自転車交通安全教育地域一体型プロジェクトの実施

地域の学校、関係機関、地区リーダー、ブリヂストンサイクル（株）等の協力・支援の下、幼児・児童とその保護者を対象に参加・体験型の自転車交通安全教育モデル事業を埼玉県内 7 か所で実施するとともに、新たな取り組みとして、当協会が開発した自転車シミュレータを活用した高齢者向け自転車交通安全教室を埼玉県内 1 か所で開催した。

【幼稚園】

平成29年 6月15日（木） 普門院幼稚園 年長園児 115名

平成29年 6月30日（金） 大成幼稚園 年長園児 66名

「腹話術」、「パネルシアター」、「自転車の発進・停止」、「信号の意味」等

【小学校】

平成29年 6月10日（土） さいたま市立大成小学校 3年生 25名 ※親子教室併催

平成29年 6月22日（木） さいたま市立日進北小学校 1・3年生 275名

平成29年 9月29日（金） 上尾市立原市小学校 3年生 96名

平成29年10月20日（金） 上尾市立東小学校 3年生 123名

平成29年11月 1日（水） 上尾市立芝川小学校 3年生 88名

「点検・乗車姿勢」、「ヘルメットの着用方法」、「基本走行（信号のある交差点、信号のない交差点、駐車車両の側方走行）」等

【親子自転車交通安全教室】

平成29年 6月10日（土） さいたま市立大成小学校 2年生・保護者 10組20名

「点検・乗車姿勢」、「ヘルメットの着用方法」、

（保護者向け）自転車のルールと指導方法、（児童向け）ブレーキングと狭路走行、

（指導実践）実技・基本走行（信号交差点・信号のない交差点・駐車車両の側方走行）等

【高齢者自転車交通安全教室】

平成29年10月24日（火） さいたま市シルバー人材センター 浦和事務所 48名

講義「自転車を安全に乗るために」、体験学習「シミュレータ危険予測学習」「体力診断」

（4）自転車安全利用講習会の実施

東京都武蔵野市からの委託を受けて、一般市民を対象に、自転車事故の発生状況や安全な乗り方等についての講義を内容とする自転車の安全利用のための講習会を実施した。

平成 29 年度は、合計 35 回、5,023 名が受講し、講習会終了後に自転車安全利用認定証の交付、TS マーク助成券及び反射材の交付等を行った。

(5) 住民参加型の地域交通安全普及啓発モデル事業の実施

地域における効果的な交通安全普及啓発活動の確立と普及を目指し、大塚製薬（株）の協力を得て、地域の関係機関・団体等との連携を図りつつ、モデル的に徳島県において、地域密着型、住民参加型の交通安全普及啓発事業を実施した。

①徳島スマートドライバーセーフティラリー2017

内 容 徳島県内在住又は在勤・在学の運転免許保有者を対象に、3か月間にわたる無事故・無違反のコンクールを実施した。

実施状況 参加チーム数 4,096 チーム、無事故・無違反チーム 3,798 チーム (92.7%)
参加人数 15,580 人、無事故・無違反人数 15,265 人 (98.0%)

②新入社員向け自動車安全運転研修会 2017

内 容 自動車を利用する新入社員向け教育プログラムの確立を目的に、大塚製薬（株）の新入社員を対象に徳島県でモデル的に自動車安全運転研修会を実施した。

実施回数 平成 29 年 4 月 8 日から 7 月 29 日までの期間で 21 回実施

実施場所 徳島県運転免許センター（板野郡松茂町満穂字満穂開拓 1 番地 1）

参加者数 大塚製薬（株）新入社員の有志参加者 男性 47 名 女性 36 名 計 83 名

プログラム 基本走行（運転姿勢・シートベルトの重要性・狭隘路・車庫入れ）
駐車課題（駐車訓練・ブルックレコード体験 他）
応用走行（路上想定運転他）

指 導 者 （一財）日本交通安全教育普及協会、(株)ムジコ・クリエイト東京営業所、
徳島中央自動車教習所、鴨島自動車学校

(6) 緊急時の対応に関する啓発活動の実施

日本保安炎筒工業会との連携・協力により、交通事故・二次災害等の減少に資することを目的として、発炎筒の使用方法や性能、非常時等における対処方法を普及啓発するためのポスターを 5,000 枚制作し、全国の都道府県、政令指定都市、警察本部、各高速道路（株）等に配布した。

(7) 国際協力による教育普及活動の実施

平成 29 年度は、ミャンマーで交通安全活動を行っている SAT JAPAN Road Service に対して情報・資料の提供及びアドバイスを行った。

(8) 関係機関と連携した交通安全教育啓発活動の推進

交通安全教育の普及を目的に、下記のとおり、関係機関と連携した活動を推進した。

①シートベルト・チャイルドシート着用推進協議会の事務局

関係省庁、団体等官民一体となって国民のシートベルトとチャイルドシートの着用推進啓発活動を行っている「シートベルト・チャイルドシート着用推進協議会」の活動に協力するとともに、同協議会の事務局を担当した。

②交通安全フォーラム推進協議会の事務局

国民の交通安全意識を高揚することを目的とした交通安全フォーラム（内閣府及び開催地の県・市主催、関係省庁後援、関係団体協賛）の推進協議会の活動に協力するとともに、同協議会の事務局を担当した。

日 時 平成 29 年 10 月 25 日（水） 13:00～16:30

場 所 船橋市民文化ホール（千葉県船橋市）

テ ー マ 「高齢社会の交通安全を考える～事故にあわない、おこさない～」

- 内 容
- アトラクション 千葉県警察音楽隊 奥 華子シンガーソングライター
 - 基調講演「個人の弱点に見合った教育プログラムを」
帝塚山大学学長・心理学部教授 蓮花 一己氏
 - パネルディスカッション
稲垣 具志氏（日本大学理工学部交通システム工学科助教）
高橋 信彦氏（一般社団法人日本自動車工業会安全・環境技術委員会安全部
会部会長）
里崎 智也氏（野球解説者・千葉ロッテマリーンズスペシャルアドバイザー）
土屋 裕二氏（千葉県警察本部交通部交通総務課管理官）

参加者 約300名

③全国交通安全運動への参加

官民一体となって実施している「春・秋の全国交通安全運動」に協賛団体として参加・協力をを行った。

④交通安全ファミリー作文コンクールの実施

内閣府及び関係団体との共催により、「我が家の交通安全」をテーマにして各家庭における交通安全に関する話し合いを進めることを通じ、国民1人1人の交通安全意識の高揚を図り、交通ルールの遵守と交通マナーの向上に資することを目的とした交通安全ファミリー作文コンクール（39回目）を実施した。

平成29年度は、小学生2,171点、中学生10,411点、一般（高校生以上）306点、合計12,888点の応募となった。

II 調査研究活動

効果的な交通安全対策、事業の企画・実施に資することを目的として、平成29年度は、高齢者を対象とした自転車安全利用講習の効果について調査を実施した。

目 的 高齢者を対象とした自転車安全利用講習会の手法について、知識の定着度や安全意識の観点から効果測定を行い、その結果を踏まえた教育現場で活用できる望ましい講習の在り方を探る。

調査方法 座学・講義型講習会と参加・体験型講習会それぞれにおいて、受講後アンケート調査を行った。

対 象 者 座学・講義型講習会受講者 323名 参加・体験型講習会受講者 78名

調査期間 平成29年9月～12月

- 調査内容
- ① 基本的項目（性別、年齢、居住地、免許証の有無）
 - ② 自転車利用状況（利用頻度、利用目的）
 - ③ 知識の定着度（自転車安全利用五則）
 - ④ 身体機能の自覚
 - ⑤ 安全意識の程度
 - ⑥ 危険感受性の程度
 - ⑦ 講習会の評価（事後のみ）

調査結果 （一部抜粋）

- 自転車シミュレータを活用した参加体験型講習では、「発進時や進路変更時の後方確認の重要性」や、「見通しの悪い交差点での多段階停止と安全確認の

重要性」などを、実際に首を振っての安全確認を体験することにより、特に、75歳以上の高齢者や運転免許を持たない高齢者には、安全意識の向上が認められた。

○座学型講習と体験型講習を比較すると、特に受講者が多数となる座学型講習では、「危険感受性」の喚起については、机の隣同士で話し合う時間設定も行っているが、深い理解に至ることが難しいことがデータからもうかがえた。

Ⅲ 情報収集提供活動

主として行政や教育現場、地域や職場において交通安全教育に携わっている担当者等に対し、交通安全教育等を推進する上で有益かつ実践的な情報を提供するとともに、当協会の活動内容やタイムリーな交通安全情報等を広く国民一般に向けて発信することを目的として、下記のとおり、2種類の活動を実施した。

1. 月刊誌「交通安全教育」の編集・刊行

交通安全に関する対策や指導方法、具体的な教育指導事例等を掲載した月刊誌「交通安全教育」を毎月編集・刊行した。

2. ホームページによる情報の発信及び収集

ホームページの積極的な活用を通して、広く交通安全教育や各種教材・教具等に関する情報を発信するとともに、双方向的に全国からの情報の収集に努めた。

Ⅳ 教材の制作・普及事業

1. 交通安全教育啓発資料・機材の開発及び普及

既存の交通安全教育啓発資料・機材について、交通事故の経年変化や道路交通法の改正等に対応して、適宜、資料・教材の改訂を行うとともに、全国の自治体、関係機関・団体等に対する訪問活動やホームページ・DM等の媒体を活用した広報活動を通して、広く周知を図り、各種の交通安全活動を効果的に進める上での有効活用を普及促進した。

平成29年度は、交通安全危険予測シミュレータの「歩行者編」に続き、「自転車編」が完成し、各種交通安全教室やイベントにおいて本格的な運用を開始した。また、30年度中期の完成を目指して交通安全危険予測シミュレータ「自動車編」及びシミュレータなどの教育用機材を搭載した「移動型体験車両」の企画・開発にも着手した。

2. 教育啓発資料の監修・指導等の実施

民間企業等が企画・制作する交通安全啓発用資料・教材に対して、要請に応じて企画・監修・指導等を行った。

Ⅴ 基本財産の運用

当協会の健全な運営を進めるためには、安定した財政基盤が不可欠なことから、売却した西麻布の所有ビルの売却金を原資にして、当時の賃貸収入以上の収入を確保できるような新たな収益物件として、新宿3丁目の事務所ビル及び北新宿の居住用マンションの2棟を購入した。

購入したこれらの土地建物を、新たな基本財産と位置付け、基本財産の保全を図るとともに、その運用益の確保に努めた。

VI 会議の開催

以下のとおり、理事会、評議員会等を開催した。

1. 理事会

- (1) 期日 平成 29 年 6 月 14 日 (水) 14:00~15:45
会場 (一財) 日本交通安全教育普及協会「会議室」
議題 第 1 号議案 平成 28 年度事業報告書 (案) の承認について
第 2 号議案 平成 28 年度貸借対照表及び正味財産増減計算書 (案) の承認について
第 3 号議案 平成 28 年公益目的支出計画実施報告書 (案) の承認について
第 4 号議案 定時評議員会の開催 (案) について
第 5 号議案 役員候補者の評議員会への推薦 (案) について
第 6 号議案 当協会の基本財産 (案) について
第 7 号議案 平成 29 年度収支予算書 (補正) (案) について
第 8 号議案 代表理事及び執行理事の職務執行状況の報告について
- (2) 期日 平成 30 年 3 月 12 日 (月) 14:00~15:15
会場 (一財) 日本交通安全教育普及協会「会議室」
議題 第 1 号議案 平成 30 年度事業計画 (案) の承認について
第 2 号議案 平成 30 年度収支予算 (案) の承認について
第 3 号議案 代表理事及び執行理事職務執行状況の報告について

2. 評議員会

- (1) 期日 平成 29 年 6 月 21 日 (水) 14:00~15:20
会場 (一財) 日本交通安全教育普及協会「会議室」
議題 第 1 号議案 平成 28 年度事業報告書について
第 2 号議案 平成 28 年度貸借対照表及び正味財産増減計算書の承認について
第 3 号議案 平成 28 年度公益目的支出計画実施報告書について
第 4 号議案 役員の選任について
報告 当協会の基本財産及び平成 29 年度収支予算書 (補正) について

3. その他

ほぼ 1 か月に 1 回の割合で、代表理事・業務執行理事・事務局による定例会議を開催し、業務の執行等について連絡協議を行った。